

ぎかい TIMES

令和6年3月1日発行 No.72



潮風とともに走ろう

2月4日に開催された旭市飯岡しおさいマラソン大会では4年ぶりにおもてなしが復活し、あいにくの天気の中でも約2千人のランナーが参加し活気ある大会となりました。

CONTENTS

正副議長選挙

議長に飯嶋正利議員、副議長に遠藤保明議員を選出

12月18日の令和5年第4回定例会閉会日に木内欽市議長と林晴道副議長から議長職及び副議長職の辞職願が提出され、議会において辞職が許可されたことから、議長選挙及び副議長選挙が行われました。



正副議長就任あいさつ

議長

飯嶋 正利 議員

このたび私たちは、12月18日に行われた選挙において、多くの議員よりご推薦を賜り、議長並びに副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

人口減少や少子高齢化等、地方自治体を取り巻く環境が更に厳しさを増す中、議員一丸となって市政発展に努めていかなければならないと痛感しております。

また、情報分野ではAI技術の発展等により、産業・経済・社会が大きく変わろうとしています。このような変化に対応するため、旭市議会においては昨年9月定例会からタブレット端末とペーパーレス会議システムを導入し、議会運営の高度化・効率化を図っているところでございます。

副議長

遠藤 保明 議員

二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆様から信頼される議会を目指すとともに、希望に満ちた持続可能な旭市となるよう、市長はじめ執行部と共に緊張感をもって切磋琢磨してまいりたいと考えております。

結びに、皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。就任のご挨拶といたします。

議案審議

会期 11月29日～12月18日(20日間)

市長提出議案

- 予算案件…………… 3件
- 条例案件…………… 8件
- その他案件………… 5件
- 人事案件…………… 2件

この定例会には、令和5年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正、工事請負契約の締結、人事案件など18議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

議案
第3号

旭市学校再編代表者会議 条例の制定

学校再編を市民協働で進めるため、代表者会議に必要な事項を定める

旭市学校再編代表者会議は、各地域検討会議の委員から推薦された、25名以内の委員で構成し、地域検討会議の検討結果を踏まえて、統合の可否、学校の位置、学校の名称及び開校の時期といった、基本的な内容を審議する予定。概ね5回程度の会議を想定している。

問 代表者会議の委員、保護者の代表、住民の代表、青少年育成関係者、その他教育委員会が必要と認める者とはどのような人なのか。

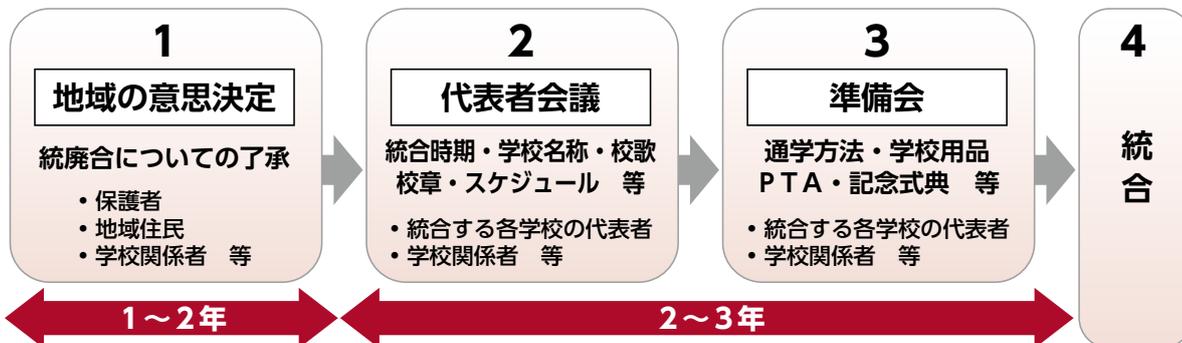
答 保護者の代表はPTA会長等のPTA役員、地域住民の代表は区長さん方、青少年育成関係者は青少年相談員、その他教育委員会が必要と認める者としては、就学前の児童の保護者代表または学校評議員、学校運営協議会委員の方々を予定している。

問 代表者会議に至らず、地域検討会議の段階で終わる可能性はあるのか。

答 地域検討会議は学校再編基本方針の内容について、この内容を進めるかどうか、保護者アンケート等を踏まえて意見を伺う場所。その中で基本方針と反対の意見が出た場合でも、基本的には代

表者会議を開き、それぞれの学校での意見を持ち寄り、共有し答申を出す。

学校の統合までには、多くの手続きが必要となります。下の図は、そのイメージを表したものです。統合までに最短で約5年の期間を要することとなります。



統合までのロードマップ (イメージ図)

議案
第4号

旭市出張所設置条例の一部を改正する条例の制定

飯岡出張所をいいおかユートピアセンターへ移管

令和6年4月1日から旭市保健センター内の飯岡出張所をいいおかユートピアセンター内に移すため、出張所の位置を定める規定を改める。業務内容についての変更はない。

問 出張所機能が移ることで休業日や営業時間に変更はあるか。

答 休業日はいいおかユートピアセンターの休館日となるので、これまでとは変更になる。休業日は月曜日。月曜日が祝休日の場合には、その翌日も休業日となる。営業時間は従来どおり9時から17時まで。この結果、土曜日、日曜日でも、証明書の取得が可能となり、利便性は向上すると考えている。

問 コミュニティバスは旭市保健センターへは行かない。移管した場合のバス路線について何か考えはあるか。

答 現時点では、いいおかユートピアセンターへのバス乗り入れは予定していない。最寄りのバス停を利用してもらうことを想定している。今後、利用者からの要望が多くなれば、ルートの変更等も検討したい。



4月から出張所業務を行う、いいおかユートピアセンター

議案
第11号
旭中央病院第3期中期目標を定めることについて

旭中央病院が達成すべき業務運営に関する目標を定める

病院の運営は市長が中期目標を設定し、中期目標に基づいて病院が中期計画を定めて事業が行われる。令和6年3月31日で第2期中期目標期間が満了となるため、今後4年間の経営の指針となる中期目標を定める。

問 遠隔病理診断科診療所を開設した理由は。

答 旭中央病院が高度急性期医療を維持していくためには、患者の病変の組織や細胞を観察し診断する病理専門医が欠かせない。しかし、病理専門医は専門医師の1%程度と少なく、しかも都市部に集中する傾向が強いことから、将来的に医師を確保できないリスクに備えるため、令和3年6月に東京都文京区において遠隔での病理画像診断体制を整備した。



病理診断科診療所における診断の様子

問 基幹病院としてさらに医療提供体制の強化を図る上で、どのようなことを病院に依頼する考えか。

答 広域基幹型急性期病院としての役割を全うするため、中期目標として病院へ提示するものなので、中期目標全体が病院へ求めるものとなる。

問 中期目標の作成体制を伺う。

答 旭中央病院調整室で事務を所掌しており、市職員で作成している。

問 病院関係の詳しい知識が必要になると思うが、法務担当に見てもらおう等行っているか。

答 それほど病院関係に詳しいわけではないので、病院評価委員会の意見を聞きながら策定した。また、調整室のみで作成をしたので、法務担当には見せていない。

問 第2期の実績見込みについて、達成度を伺う。

答 中期目標は達成すべき業務運営に対する指示なので、目標に関する実績はないが、第2期中期計画の実績見込み評価については、評価対象の二つの大項目「地域住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」と「業務運営の改善及び効率化に関する措置」いずれもB評価「予定どおり実施できている」となっている。

議案
第12号
工事請負契約の締結(海上・飯岡統合消防分署庁舎建設工事(建築))

契約方法 総合評価方式一般競争入札
契約金額 6億5780万円
相手方 阿部建設株式会社

問 補足説明では3者から参加申込みがあったとのことだが、開札調書を見ると、1者が無効、1者が辞退となっている。この、無効と辞退の理由を伺う。

答 無効については入札書と一緒に提出することとなっている、入札金額の内訳を記載した内訳書に不備があり入札が無効となった。辞退については入札の受付期間中に本人から辞退の届出がされた。

※総合評価方式一般競争入札：解説は16ページ。

議案
第18号
令和5年度旭市一般会計補正予算計補正予算

住民税非課税世帯等へ1世帯当たり7万円を支給

国の地方創生臨時交付金のうち「低所得世帯支援枠」として、住民税非課税世帯に対し1世帯当たり7万円の給付金を支給。「推奨事業メニュー枠」として、低所得世帯支援枠で対象とならない、住民税非課税世帯のうち被扶養世帯に対し、1世帯当たり7万円の給付金を支給。

問 補正額4億9800万円ということだが1世帯当たり7万円で、経費などを除き、単純に7000世帯分ということではないのか。

答 対象世帯については7000世帯で想定している。

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める請願(請願第4号)

1.訪問販売や電話勧誘販売について、消費者があらかじめ拒絶の意思を表明した場合には、勧誘してはならない制度とすること。及び事業者の登録制を導入すること。

2.SNS等のインターネットを通じた通信販売の勧誘等につき、行政規制・

クーリングオフ等を認めること。及び権利を侵害された者はSNS事業者等に対し、相手方事業者等を特定する情報の開示を請求できる制度を導入すること。

3.連鎖販売取引について、国による登録・確認等の開業規制を導入すること。及び規制を強化すること。

上記3項目の法改正を行うよう国に要望する請願。



審査結果

委員会付託の請願1件について、全員賛成で閉会中の継続審査と決した。

文教福祉常任委員会

令和5年度旭市一般会計補正予算について(議案第1号)

Q 障害児通所等給付費の利用者数はどのくらい増加する見込みなのか、また、当初に増加を見込めなかったのか。

A 当初、6種類あるサービスの合計利用者数を412名と見込んでいたが、今回の実績見込みは424名で12名増の見込み。また、児童発達支援と放課後等デイサービスの給付が見込みより大きく増加したため。

工事請負契約の締結について((仮称)中央第二・ゆたか統合保育所建設工事(建築))(議案第15号)

Q 今回の契約は建築工事一式となっているが、電気設備や機械設備は別に発注するのか。

A 電気設備や機械設備については別に入札を実施している。電気設備の落札金額は1億120万円、機械設備については、本日開札を行っている。



統合校予定の古城小学校を視察

審査結果

委員会付託の6議案について、議案第15号は賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決。

総務常任委員会

令和5年度旭市一般会計補正予算について(議案第1号)

Q 一般会計の給与部分について、県人事委員会の委員長談話では1.19%の引上げとなっているが、旭市の場合是一般職のみでどのくらいとなるのか。

A 一般職の給料表の改定率は1.3%の増となっている。

旭市出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について(議案第4号)

Q 飯岡庁舎は消防分署として使っている部分以外は使用に耐えない

状態なのか、出張所をユートピアセンターに決定した経緯を伺う。

A 飯岡庁舎は耐震性がなく、飯岡分署と海上分署の統合が済んだら解体の予定。出張所業務は現在再任用職員等が行っているが、お客様も少なく人件費をかける必要があるのかという問題もあり、一番近い公共施設であるユートピアセンターに移し、ユートピアセンターの管理職員が出張所業務も行うことを考えている。



委員会審査の様子

審査結果

委員会付託の11議案について、議案第11号、第12号は賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決。

令和5年第4回定例会 審議結果一覧

賛否が分かれた議案等と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長
※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			常世田正樹	伊藤春美	菅谷道晴	戸村ひとみ	伊場哲也	崎山華英	永井孝佳	井田孝	島田恒	片桐文夫	遠藤保明	林晴道	宮内保	飯嶋正利	宮澤芳雄	伊藤房代	向後悦世	景山岩三郎	木内欽市	松木源太郎
市長提出議案																						
5	旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
11	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院第3期中期目標を定めることについて	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×
12	工事請負契約の締結について(海上・飯岡統合消防分署庁舎建設工事(建築))	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×
15	工事請負契約の締結について((仮称)中央第二・ゆたか統合保育所建設工事(建築))	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×
請願																						
4	「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める請願	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○

全員賛成で議決した議案

- 議案1 令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案2 令和5年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案3 旭市学校再編代表者会議条例の制定について
- 議案4 旭市出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案6 旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案7 旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案8 旭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案9 旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案10 旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案13 工事請負契約の締結について(海上・飯岡統合消防分署庁舎建設工事(電気設備))
- 議案14 工事請負契約の締結について(海上・飯岡統合消防分署庁舎建設工事(機械設備))
- 議案16 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案17 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案18 令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について



議会マメ知識

「継続審査」とは

自治法には「会期中に議決に至らなかった事件は、後会に継続しない」とする、会期不継続の原則がありますが、継続審査はその例外に当たります。会期中に結論が出ず、しかし会期延長をするほど緊急でもない場合には、継続審査付託を会議で議決し、付託を受けた委員会が閉会中の審査を行うことができます。

今回の請願第4号も閉会中に委員会で審査を行い、令和6年第1回定例会で採決される予定です。

討 論

討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、議員が賛成か反対かの自己の意見を表明することです。

〈議案第5号〉

反対

永井孝佳議員

人事院勧告は労働基本権が制約された一般職に対してであり、議員には当てはまらない。その他に期末手当を上げる明確な理由はなく、成り手不足解消等のために必要だという声もあるが、旭市議会議員には、このように素晴らしい多種多様な議員が集まっており、それも問題ないと思う。米本市長がおっしゃる選択と集中という言葉を実行するには、何かを削ったり、我慢する必要があると思う。その第一歩として、自らを削らなくてはならないのではないかと考えており、今回、議員の期末手当を上げる本議案に反対する。

〈議案第11号〉

反対

戸村ひとみ議員

反対の理由は、この中期目標が市民の意見が反映されていない目標だという点にある。本来ならば、市民の財産とも言える旭中央病院が目指す目標については、作成時に市民の意見を聞く場があってしかるべきで、市民の意見を代弁する議員の意見も取り入れるべきだと私は考える。そうでなければ、今期中に利用者である市民が感じている様々な問題が、次期目標にその解決策として掲げられることがない。問題が何か明確に分からなければ、目標の立てようがないではないか。市民意見、議会の意見を取り入れたものに作成し直すべきという理由で反対する。

反対

松木源太郎議員

中期目標の決定について、近隣市では独立行政法人をどうするかということを市民に明らかにしている。ところが、旭市の場合は全く違う。議会で通って、次の議会で病院が中期計画をつくれれば、それで我々はやっていくんだと、こういう考え方で進めている。こんな不十分な報告と審議で、これから4年間の中期目標や中期計画を作成し、同法人の事業をさせてはならないので反対する。

〈議案第12号〉

反対

戸村ひとみ議員

反対理由は1点、情報開示がされないため議案審査ができる状態にない。3者の申込みがあった中で、1者は無効、もう1者は辞退。無効とはどういうことか質疑したところ、入札書と内訳書の金額に差異があったという答弁だった。その差異は幾らだったのか。無効と判断したのは誰か。数字を示してもらわなければ無効にしたことが妥当だったのかどうか審査できない。情報が公開されなければ、無効という市当局の判断の正当性が証明できない。もう1者の辞退も同様であり、以上の理由により反対する。

反対

松木源太郎議員

1者について入札書と内訳書の金額が相違していたため無効としたとのことだが、中身が不明のため入札の中身について情報公開請求をした。また、もう1者についても、なぜ辞退したのか、その理由をたずねるため、情報公開請求をした。これらの事実が判明しないため、反対する。

〈議案第15号〉

反対

戸村ひとみ議員

反対の理由は1点、議案第12号で無効となった業者が落札しているため。議案第12号の無効が妥当だったのか審査されない限り、この議案第15号の落札が有効と判断することができないため、反対する。

反対

松木源太郎議員

入札のあった2者は、議案第12号で無効と辞退の業者であり、この2者を1か月もしない間に再度入札に入れる、これはおかしいのではないか。この議案を不採択にし、再度入札をさせる必要があると思う。今回の入札は、今後あってはならないような入札であるため反対する。

〈請願第4号〉

賛成

伊場哲也議員

本請願は喫緊の課題であり、全国の消費生活センターへの消費生活相談が85万2000件。その半数以上が特定商取引法の対象分野に関する相談。特定商取引法が確実に消費者を守る法律、ざる法にさせないための更なる法整備の強化を図る必要がある。市民一人ひとりが安全・安心に暮らせるまちであってこそ、旭が好きだと言えるのではないか。国に市民の皆様方の声が届くような、そういう対応をしてくれることを願い、市民の切なる喫緊の声であるということを理解いただき、本請願を採択するようお願いする。

市政を問う!

第4回定例会

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



道の駅季楽里あさひについて

問 運営改善の取り組みについて、キャッシュレス化の現状を伺う。

答 令和3年度よりきらかを導入。今年からはクレジットカードとコード決済が利用可能となった。ただし、交通系電子マネー等に対応していない。キャッシュレス化を進めることで、利用者の利便性向上と、レジ担当の作業軽減を図ることができた。

問 施設の老朽化に伴う修繕計画を伺う。

答 9年が経過し、施設や備品等の経年劣化が目につく箇所もある。指定管理者と連携し、必要な修繕等を実施する。

問 イオンタウンとの連携について、この先どのように考えているか。

答 今後、双方の施設の特徴をうまく連携させ、さらに多くの方が旭市を訪れるような取り組みを検討していく。

東総広域農道について

問 県道昇格について、これまでの検討経過を伺う。

答 平成3年度に、東総広域市町村圏事務組合から県に対し県道昇格を要望したが、道路網の密度が認定基準に合わない等の理由により「県道昇格は困難」との回答だった。その後、平成6年度にも関係市町から県に対し、再度要望をした。近年では平成25年10月にも要望をした。

問 清滝バイパスの供用開始に伴い、広域農道は主要道路になると予想されるため、県の管理とならないか。

答 清滝バイパス供用開始後の交通量調査の結果を踏まえ、県道昇格について検討したい。

問 成田空港の機能拡大整備に伴って、周辺地域の雇用に拡大すると千葉県も予想をしている。成田までの交通網の整備について、今後の展望を伺う。

答 地域生産物の流通輸送のための基幹道路として、東総広域農道の重要性が高まり、交通量の増加が見込まれる。県道昇格については、清滝バイパスの供用開始をきっかけとして、再度検討したいと考えている。



島田 恒 議員





常世田 正樹 議員



障がい者福祉の充実について

問 障がいのある方の雇用促進について八日市場特別支援

学校では生徒数が急激に増加しており、卒業後の就職先が不足している。障がいのある方の雇用について一歩踏み込んだ公的援助をすべきと思うが市長の見解を問う。

答 地方公共団体は、率先して障がいのある方の雇用を進めるべきと認識している。本市では誰もが生き生きと自立した生活を送れることや真の豊かさを実感できる地域社会を築いていくことを目的に各種施策を展開している。

問 他自治体と比較して福祉避難所が少ないが、増やす予定はあるか。

答 福祉避難所は増やしていきたいと考えている。

問 障がいのある方の受け入れ体制は十分か。障がいのある方と家族が安心して避難できる福祉子ども避難所を開設することはできないか。

答 障がいのある子どもの受け入れはロザリオの聖母会にて可能。市の施設を福祉子ども避難所にするか調査研究していく。

学校教育の充実について

問 市内小・中学校へのフリーナプキン設置について、過去にも取り上げたが、その後の検討状況と今後の設置予定を伺う。

答 家庭の状況等で生理用品を買えない子どものためにも、ナプキンを入手しやすい環境を整えることは重要であると考える。保健室での配布は続けながら、多様な配置の在り方を検討する。

問 部活動の地域移行について、指導員を希望する市職員の残業を無くし、指導にあたるような体制を構築することも必要だと思いが市長の考えを問う。

答 市職員や退職した教職員等、地域の人材を積極的に活用し、地域全体で子どもたちがスポーツや文化・芸術に親しむ機会を確保することは重要な課題であると認識している。スポーツや文化・芸術に親しむことができる環境づくりのため教育委員会と連携し、協議、検討を進めていく。

公共下水道事業について

問 下水道区域において現在、下水道を使用していない件数はどれくらいあるか、使用者が減少していくことに対し、どのような対策を講じるのか。

答 令和4年度末時点で休止している件数は116件、全体の7・5%。区域内の下水道未接続者に対しては、戸別訪問やチラシの配布により加入促進を行っている。空き家や駐車場用地となつて下水道を使用していない箇所への対策については、関係課と協議をしていきたい。

問 下水道事業の収益だけでは経営が難しいため、現状は一般会計からの繰入れが多額となっている。将来を考えると一般会計からの繰入れは少なくなるべきだが、今後の見込みや計画を伺う。

答 今年度に施設のストックマネジメント計画の見直し、令和6年度に経営戦略の見直しを行い、施設の更新費用や財政収支

公共資産の有効活用の推進について

問 旧海上中学校跡地の利活用について、何度が取り上げてきたが、協議の進捗状況と今後の見通しを伺う。

答 三つの方向性があり、一つ目は住居系を中心とした複合施設や移住者向けの分譲地としての活用。二つ目は生涯活躍のまち・あさひ形成事業の波及効果を見極めた上での土地活用。三つ目は学校再編計画における統合学校の候補地としての活用。現在これから計画等の進捗を見極めている。

問 有効活用できる土地があるのに、使われるのはさらに先になってしまふ。市長の決断があれば事業は一步前に進むのではないか。市長の見解を伺う。

答 生涯活躍のまち・あさひ形成事業や学校再編推進事業は、市において重要な施策であるので、これらの事業の進捗を見極めて慎重に判断していきたい。

問 その他の質問事項
○国土強靱化について



井田 孝 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



菅谷 道晴 議員



過疎対策について

問 人口減少対策についての取り組みを伺う。

答 令和4年度からストップ少子化大作戦として、移住・定住から結婚、出産、子育てを一連のものとして捉え、様々な事業を一体的、効果的に組み合わせた切れ目ない支援を展開している。

問 空き家対策について、空き家の現状と取り組みを伺う。

答 本年度行っている空家等実態調査はまだ結果が出ていないので、平成30年の実態調査では、市内の空き家等は1129件。その内、特定空家候補は106件。再利用可能な建物は129件。空き家への取り組みは旭市特定空家等対策計画に基づき、空き家の改修、除却の補助事業や苦情・相談への対応を行っている。

過疎対策事業について

問 過疎対策事業債はどのようなものに使えるのか。

答 過疎地域に指定された地域の持続的発展に資する事業に対し活用することができるが、旭市過疎地域持続的発展計画に位置付ける必要がある。

問 過疎債は何年まで利用できるのか。また、過疎指定によって、商工業に関して干潟地域への施策はあるか。

答 過疎債の期限は令和13年3月31日までとなっている。干潟地域の支援措置として、業種は絞られるが3年間固定資産税を免除する奨励措置がある。

問 干潟地域以外も過疎地域に指定される可能性があるか。

答 一部過疎地域の判定には、旧市町村単位の人口と現市町村の財政力に関する要件があり、要件が満たされれば、旧干潟町以外の地域が一部過疎として指定される可能性はある。



過疎地域指定の干潟地域

公立保育所の連絡アプリについて

問 保育所と保護者との連絡は、口頭で頼っている部分がある。伝え漏れ等がない連絡用アプリ導入について検討状況は。

答 今年度から複数の業者から機能紹介等の説明を受けている。保育士の意見を聞きながら、保護者にとっても利用しやすいものとなるよう協議していきたい。

子ども子育て支援事業計画について

問 本計画においてファミリー・サポート・センター事業は令和6年度開始予定としているが、今年度の検討状況は。また、計画通りに実施が可能なのか。

答 今年度は7月、8月に県内4市を視察した。これを踏まえ令和6年度の新規事業として実施を検討している。

学校教育指導の指針について

問 昨年の一般質問で校則の見直しやHPへの公開を提案

答 したが、どのように検討したか。今年度各校では生徒総会等による声を反映させ、学校評価アンケートによる保護者の意見を参考にすると、校則の見直しを進めている。学校HPへの校則掲載については校長会及び各校と協議しており、本年度中に公開できるように準備を進めている。

問 「させる指導」から「支える指導」へと生徒指導提要の考え方が大きく変わった。教育長にはそれを念頭に入れた上で本市の教育を引っ張っていただけないか。教育長の考えを伺う。

答 これまでも学校現場では、児童・生徒の成果や発達を促したり支えたりする働きかけを行ってきたが、必ずしもそれが意図的であったか、計画的に行っていたかという疑問も若干残っている。社会の変化と共に学校教育では常に新しい考えを取り入れることが重要であり、生徒指導も同様と考える。「支える指導」を学校と共有し、児童・生徒が自発的かつ主体的に成長できる生徒指導を推進していく。

その他の質問事項

○公式LINEを活用した市への通報機能について



崎山 華英 議員





飯嶋 正利 議員



住みよい住環境の確保について

問 秋田川の護岸工事について、仁玉川の護岸も崩れているが進捗の違いはあるのか。

答 秋田川は令和2年度に県が機能診断の実施と機能保全計画の策定を行った。今後は、令和6年度中の事業化を目指し、法手続きを進める予定。仁玉川は令和3年度に機能診断の実施と機能保全計画の策定を行い、県営事業の申請に向け準備を行っている。このことから、順番通りに両事業とも順調に進んでいる。

問 仁玉川の改修工事について、1期工事の際に当時の市長に本当に農業予算でいいのかという提言を行ったが、2期工事についても農業予算でいいのか。

答 昭和46年から51年に国営の県営かんがい排水事業が行われた。そういった流れもあり1期工事を始めるときに仁玉川は一つなので、1期、2期と分かれているが、全河川については農業予

算で整備すると方針があった。

駅周辺の整備について

問 旧市民会館跡地の活用方法について、県等とどのような協議が行われたのか。

答 旧市民会館の土地は県と貸付契約を締結し、借用していた。契約では「旭市民会館のために使用するものとする」とされ「建物を解体して新たに建物を建築してはならない」とする条項もあり、本年3月をもって返還した。

問 建物はもう建てないということ、これに対して県とのやり取りは何もなかったのか。

答 県から市への跡地活用についての打診はなかった。

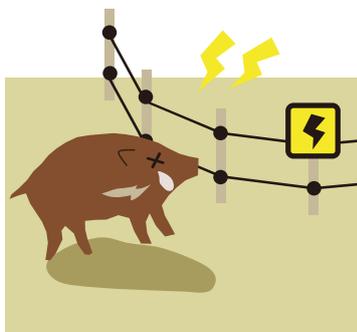
問 旭駅前の整備について、駅舎や駅前駐車場等の整備を今後するつもりはあるのか。

答 JRに今後の駅舎整備については何だったところ、現時点では利便性を向上させるような整備予定はないとのこと。駅前駐車場については、ロータリーが朝夕送迎時に混雑する状況であることは把握しているが、送迎車のための一時駐車場の整備計画はない。路面表示が薄くなっていることも混雑の要因と考え、薄くなった部分の補修を検討していく。

有害鳥獣対策について

問 イノシシの出没が増えているが農業被害の状況と補助金(資材費の50%助成、上限10万円)を使つての電気柵設置状況は。

答 市が把握しているイノシシによる農業被害額は直近3年間で約200万円。電気柵設置状況は海上地区2か所、飯岡地区38か所、干潟地区1か所。柵延長は全体で14km。



問 イノシシの駆除は行っているか。またその数は。

答 駆除業務は銚海猟友会に委託している。駆除実績は直近3年間で28頭。

問 猟友会の担い手不足に対する取り組みはあるか。

答 わな猟免許の新規取得に要する初心者狩猟講習会受講料や狩猟免許試験の申請費用に対する補助がある。

学校再編について

問 現在検討されている基本方針以外の選択肢はどの段階まで存在するのか。最終的にどこで決定するか。

答 代表者会議で決定する。仮にその中で基本方針と異なる結論となった場合には、あらためて再編内容の再検討を行う。

問 HPで公開されている、会議資料や会議録の学校名、地域名が伏せられている理由は。

答 検討段階で資料を全て公開すると、議論を進めていくうえで、円滑な議事運営に影響がでると考え一部資料を非公開としている。また、会議録を確認すると検討段階の資料が策定委員会で決定したものとして独り歩きしてしまう事や委員が嫌がらせを受けるといった事を危惧する記述もあり、そういったことを踏まえ、一部非公開とした。

その他の質問事項

○ふるさと納税について



永井 孝佳 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



伊藤 春美 議員



带状疱疹ワクチンについて

問 带状疱疹ワクチン助成の全国及び近隣の状態を伺う。

答 11月6日現在の助成状況は全国1718市区町村中326市区町村。県内では9市町村が助成を行っている。

問 旭市も市民の健康を考え、早期の助成を開始すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 市では令和6年度から接種費用の助成が開始できるよう準備を進めている。対象は年齢50歳以上の方で、助成額は接種費用の2分の1とし、生ワクチンは上限4千円で1回、不活化ワクチンは上限1万円で2回までの助成を考えている。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン公費助成について

問 男性へのHPVワクチン接種は、女性のHPV感染減少に期待できると日本産婦人科学会が推奨している。女子生徒同

様、ワクチン接種の公費助成はできないか伺う。

答 県内で接種助成を行っているのはいすみ市のみ。全国でも多くの自治体が未実施。男性の接種の重要性は理解しているが任意接種であり、まずは定期接種の女性の接種率向上に努めたい。



問 キャッチアップ接種の対象者が積極的勧奨を控えていた9年間(平成26年度〜令和3年度)の間に自己負担で接種を受けた場合の対応は。

答 償還払い制度で対応している。健康づくり課に接種したことがわかる領収書や母子健康手帳、医療機関で発行された接種済み証明書等を持参し、手続きを行うことで、自己負担した接種費用が償還される。その他の質問事項
○産後ドゥーラについて

第4次行政改革アクションプランについて

問 令和4年度の財政効果額3億9704万円の具体的な内容について伺う。

答 ①市債権の収入未済額の縮減1億5148万円。②その他自主財源の拡大1億7889万円。③一般行政経費の抑制667万円。

問 市債権の収入未済額の縮減に向け具体的にとどのような取り組みをしたのか伺う。

答 徴収対策会議、債権管理研修会、口座振替による納付、コンビニ納付、スマホ決済等の取り組みにより収納率向上と滞納額減少といった効果が表れている。

教育委員会の事務の管理及び学校教育の改善に向けた取り組みについて

問 執行にかかる点検・評価に関する学識経験者からの意見や要望に対してどう対応しているか伺う。

伊場 哲也 議員

答 即時、教育委員会内の各課にフィードバックし、対応している。検討を要する事項は現状を確認し、次年度以降の課題としている。

問 学校給食費完全無償化に踏み切れるのか。厳しい財政状況、教育委員会の意見を伺う。

答 給食費の無償化を実施するや事業拡大の抑制、マイナススリーニングの実施による財源確保、健全な財政運営が必須。他市の実施状況、財政規模、本市での財政負担シミュレーションを行い無償化拡充に向け協議を進めている。

人と組織の育成戦略について

問 管理職のバランスと市政の活性化を図る上で、女性の課長をもっと登用すべきと考えるが市の見解を伺う。

答 職員人事は性別にかかわらず女性課長は子育て支援課長のみ。女性の課長職登用を念頭に置きながら適切な人員配置に努める。その他の質問事項
○公共施設の個別事業計画及び各種進捗状況について
○活性化を図るための市政運営について



戸村 ひとみ 議員



旭の農業の未来と可能性について

問 学校教育と農業の連携について、予算編成時の今、改めて学校給食完全無償化に向けた取り組みはどうなっているか伺う。

答 他市の実施状況や本市での財政負担シミュレーションを行い、給食費無償化の拡充に向けて、協議、検討を進めている。

問 有機農業の推進について、国では2050年までに25%有機農業という高い目標を掲げているが、旭市はどのような取り組みをしているか。

答 市では有機農業の環境負荷低減効果等の周知、情報発信、手続き案内等を行っている。外国人観光客誘致について、旭の持てる観光資源、ポテンシャルが外国人誘致に生かされていないと感じる。本市の地域資源である農業や食を生かしたインバウンドへの取り組みを伺う。

答 市HPは外国語表記に変換できるので外国人の方も観

光情報について閲覧できる。

問 千葉県は東日本大震災以降停滞していた農林水産物の輸出拡大と、県内観光周遊によるインバウンドの拡大を目指しているが、県の農畜産物を支えている本市の、農畜産物の輸出拡大について、県と連携した取り組みを伺う。

答 県では輸出相談会の開催や輸出に興味のある事業者等への情報提供等を行っている。市もこれらと連携し、事業者等への情報提供を行っていききたい。

問 千葉県生誕150周年記念事業に関して、どのように取り組んでいるか。

答 大原幽学記念館特別展と「ぼるぼる」の2事業を実施。子どもたちの才能を伸ばし、夢を実現させるために、具体的な目標を立てる等のアドバイザーやサポートが教育に関わる大人たちの責任だと思ふ。芸術文化の振興について、学校教育における取り組み、特に子どもたちの才能を伸ばす教育について伺う。

問 芸術文化に触れる機会の創出、特色ある学校づくり等の支援をしているか。

答 芸術文化に触れる機会の創出、特色ある学校づくり等の支援をしている。

持続可能なまちづくりについて

物価高騰対策について

問 低所得世帯への7万円の追加給付について、今後の予定を伺う。

答 年内に予算化するよう国から通知があり、本日補正予算を提案した。

問 生活者への物価高騰による負担軽減対策、医療、介護、保育施設、学校施設等に対する支援策、中小企業への支援策及び子育て世帯への支援策について伺う。

答 重点支援地方交付金で、生活者や事業者を支援するための推奨事業メニューが示されている。支援策については、どのような事業を行うことが最も適当であるか、現在検討している。

問 電気自動車について

問 電気自動車のインフラ整備として、市役所駐車場に電気自動車の急速充電設備の設置はできないか。

答 市内に予算化するよう国から通知があり、本日補正予算を提案した。

問 生活者への物価高騰による負担軽減対策、医療、介護、保育施設、学校施設等に対する支援策、中小企業への支援策及び子育て世帯への支援策について伺う。

答 重点支援地方交付金で、生活者や事業者を支援するための推奨事業メニューが示されている。支援策については、どのような事業を行うことが最も適当であるか、現在検討している。

問 電気自動車のインフラ整備として、市役所駐車場に電気自動車の急速充電設備の設置はできないか。

答 市内に予算化するよう国から通知があり、本日補正予算を提案した。

答 充電インフラの整備は、SDGsの複数の目標達成に関わるものであり「豊かな旭を次世代につなげていく」というまちづくりの方針にもつながるものである。急速充電設備の設置については、前向きに検討していく。

問 市では何台の電気自動車か公用車として使われているのか伺う。

答 公用車に電気自動車は1台もないが、政府が導入を目指している電動車4種類(電気自動車、燃料電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車)のうちハイブリッド自動車を23台所有している。

問 今後、公用車に電気自動車を導入する考えはあるか。

答 公用車の更新の際には、市場の普及状況や充電設備の整備状況を注視し、公用車の使用用途にもよるが、補助金や有利な起債などを活用しながら、一定程度は導入したいと考えている。その他の質問事項

○高病原性鳥インフルエンザ対策について

○高齢者向けのスマートフォン教室について



伊藤 房代 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



松木源太郎 議員



仁玉川の改修事業について

問 仁玉川下流部分の護岸の崩壊について、どのような対策を計画しているか。

答 下流部分で柵渠が崩壊し、特に損傷の激しい箇所は、管理者の大利根土地改良区が応急措置として大型土のうを設置する。

問 仁玉川下流部分の第2期工事見込みは。

答 早ければ令和6年度に下流部分の事業計画概要書を作成する予定。

問 早急に実施していただきましたが、市の見解は。

答 早急に第2期工事に至るよう、進めていきたい。

問 新川につながる最下流部の780mの土塁が崩れている。市が独自にでも早急に工事するべきではないか。

答 市民の安全・安心をこれからも守っていかねければならない。県や大利根土地改良区とも相談しながら、早急に改善する。

消防団の活動への援助の方法について

問 令和4年度で消防団員が市民から直接、活動費を頂くことはなくなった。しかし、区や自治会を通して消防団へ寄附がされている。この部分を市の費用で充填することはできないか。

答 消防団の活動費については、消防協力費等の名目で地域貢献活動に対しての協力費として頂いているものと考えている。

学校給食の無償化についての計画並びに検討結果について

問 市長の答弁を聞いてみると「国がやるまで待っているのではないか」と見えるがどうか。

答 国がやるべきというのは確かにそうだが、考えの基は「生まれた市町村によって違ってはいけない」ということ。段階を踏みつつ無償化に進んでいきたい。

デマンドタクシーの改善計画について

問 デマンドタクシーの改善計画を伺う。

答 令和6年度から要望の多かった区域外運行について、医療機関を乗降場所とする場合は可能とし、区域外運行用に車両を1台増車する予定。

分野別に！少人数で！専門的に！

市民のくらしに身近なコトを話し合う場、それが委員会です。

市議会と聞くと議員全員が集まる本会議をイメージする人が多いのでは!? でも市議会には少人数で専門的な議論をする委員会という場もあります

本会議



市長をはじめ各課長から、提案された議案の補足説明が行われます。説明した日からおよそ3日後に開かれる本会議では、議員から議案に対する質疑が行われます。

委員会



市の仕事はとても広い範囲にわたるので、議案を分野ごとに各委員会に委託します。委託後は各委員会で審査して、結論を出します。

本会議(最終日)



各委員会の委員長が審査結果を報告します。その報告をもとに話し合い議案に賛成か反対かを、多数決で決めます。

委員会の構成メンバーが替わりました

旭市議会では常任委員の任期を2年としているため、任期満了に伴い委員会の構成メンバーが替わりました。また、議会運営委員会と議会だより編集委員会の構成も変わりました。

総務常任委員会



前列左側より、木内欽市委員、景山岩三郎委員長、崎山華英副委員長、伊藤房代委員
後列左側より、遠藤保明委員、林晴道委員、菅谷道晴委員

文教福祉常任委員会



前列左側より、松木源太郎委員、島田恒委員長、伊藤春美副委員長、宮内保委員
後列左側より、伊場哲也委員、飯嶋正利委員、常世田正樹委員

建設経済常任委員会



前列左側より、向後悦世委員、片桐文夫委員長、永井孝佳副委員長、宮澤芳雄委員
後列左側より、井田孝委員、戸村ひとみ委員

議会運営委員会



前列左側より、景山岩三郎委員、林晴道委員長、片桐文夫副委員長、宮内保委員
後列左側より、井田孝委員、島田恒委員

各常任委員会の所管

総務常任委員会

秘書広報課、行政改革推進課、総務課、企画政策課、財政課、税務課、市民生活課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、消防本部、他の委員会の所管しない事項

文教福祉常任委員会

環境課、保険年金課、健康づくり課、社会福祉課、子育て支援課、高齢者福祉課、教育委員会

建設経済常任委員会

商工観光課、農水産課、建設課、都市整備課、上下水道課、農業委員会

議会だより編集委員会



左側より、崎山華英委員、島田恒委員長、常世田正樹副委員長、戸村ひとみ委員

あさピーが解説

気になるあの用語



本紙で気になった用語を解説するよ！

Q 総合評価方式一般競争入札ってな～に？

掲載は4ページ

A 公共工事の品質確保を目的として、価格のみで評価する通常の一般競争入札と異なり、施工品質や安全性等、価格以外の要素と価格とを総合的に評価し、落札者を決定する方式。旭市では令和元年度から導入している。

対象となるのは、設計額1億円以上の工事等「旭市建設工事等入札参加資格委員会」が選定したもの。



Q インバウンドってな～に？

掲載は13ページ

A インバウンド(inbound)は「内側」を意味する接頭辞[in]と「～行き」を意味する[bound]から成り立つ複合語で、「内向き、外から中に入ってくる」という意味の英単語。

観光業界ではインバウンドツーリスト(inbound tourist)「日本にやってくる外国人観光客」を指す言葉として使われている。



3

月定例会の予定

(2月28日～3月19日)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
			開会			
3	4	5	6	7	8	9
	議案質疑		一般質問	一般質問	一般質問(予備日)	
10	11	12	13	14	15	16
		建設経済 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務 常任委員会		
17	18	19	20	21	22	23
		閉会				

いずれも10時から開催予定です。

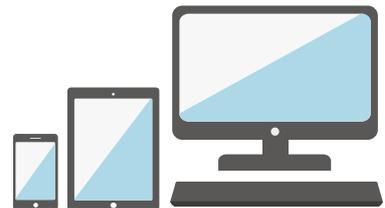
日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会を傍聴しませんか

本会議は誰でも傍聴できますので、希望される方は、市役所4階の議会事務局までお越しください。親子傍聴席も設置していますので、お子様連れの方でも気兼ねなく傍聴できます。

議会中継をご覧ください

本会議は、インターネットで生中継と録画配信(過去5年分)を行っています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。ぜひご覧ください。



編集後記

年が明けて新年を祝う間もなく、能登半島地震が発生し、日を追うごとに被害の甚大さが明らかになっていきます。多数の死者・行方不明者、子どもたちが犠牲になった報道に大変心が痛みます。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

翌日には日航機の衝突事故。痛ましい事故ではありますが、乗客全員が無事脱出できたことに、世界から称賛の声も上がっています。乗客の命を守った的確な判断、迅速な行動、そして普段の訓練があったからこそその結果だと思います。

本市も東日本大震災から13年が経過する中、改めて普段からの備え、訓練を見直してゆく必要があります。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、能登の子どもたちにも穏やかな日々と、暖かな春が訪れることを願ってやみません。

(委員長 島田 恒)

旭市議会だより編集委員会

委員長 島田 恒

副委員長 常世田正樹

委員 崎山 華英

委員 戸村ひとみ